

全国標準積算資料（土質調査・地質調査）改訂歩掛版 正誤表

平成25年度改訂歩掛版

IV-65ページ V S P 探査 (注) 1. 補正係数の表 補正係数式

2015年03月13日更新

誤) $k = (1.8 \sim 0.4 \log D) \times D / 100$

正) $k = (1.8 - 0.4 \log D) \times D / 100$

III-35ページ 機械ボーリング（オールコアボーリング）φ86mmの材料費について

2014年12月09日更新

誤) コアチューブ(シングル) φ66mm 1.5m
メタルクラウン φ66mm
ケーシング(1.5m) φ83mm×1.5m
標本箱 標本ビン用

正) コアチューブ(ダブル) φ86mm 1.5m
メタルクラウン φ86mm
ケーシング(1.5m) φ97mm×1.5m
標本箱 コア箱

IV-97ページ 多点温度検層 観測費歩掛の材料費

2014年09月29日更新

誤) (材料費の一つであるセンサーケーブルの掲載漏れ)

正) [材料費] センサーケーブル (単位: 式) (数量: 1) (摘要: 30回使い全損)

IV-125ページ 歩掛表「測定費」、P S 検層における人件費および機械等損料（ボーリングポンプ）の数量

2015年04月01日更新

- 誤) 人件費 漂遊型方式 (1m間隔)
地質調査技師 → 5.0
地質調査員 → 5.0
機械等損料 ボーリングポンプ
板叩き法 (2m間隔) → 3.0
漂遊型方式 (1m間隔) → 3.0
- 正) 人件費 漂遊型方式 (1m間隔)
地質調査技師 → 4.0
地質調査員 → 4.0
機械等損料 ボーリングポンプ
板叩き法 (2m間隔) → 1.5
漂遊型方式 (1m間隔) → 2.0

III-34ページ 機械ボーリング（オールコアボーリング）φ66mmの材料費について

2014年12月09日更新

- 誤) コアチューブ（シングル）
標本箱（標本ピン用）
- 正) コアチューブ（ダブル）
標本箱（コア箱）

III-45～III-47ページ 岩盤ボーリング ダイヤモンドビット歩掛表

2014年03月07日更新

- 誤) (歩掛表の掲載落ち)
- 正) [岩盤ボーリング ダイヤビット歩掛](#)

IV-9ページ 屈折法弾性波探査 表「観測作業の進め方」に記した成分の表示

2014年03月07日更新

- 誤) 28成分
- 正) 48成分

誤) 直接人件費

主任技師 1/1,000~1/500 (0.1km²) 当りの数量 → 1.5

直接経費

機械等損料 1/25,000~1/10,000 (10km²) 当りの数量・単位 → 4日

〃 1/5,000~1/2,500 (1km²) 当りの数量・単位 → 3日

〃 1/1,000~1/500 (0.1km²) 当りの数量・単位 → 7日

正) 直接人件費

主任技師 1/1,000~1/500 (0.1km²) 当りの数量 → 0.5

直接経費

機械等損料 1/25,000~1/10,000 (10km²) 当りの数量・単位 → 1式

〃 1/5,000~1/2,500 (1km²) 当りの数量・単位 → 1式

〃 1/1,000~1/500 (0.1km²) 当りの数量・単位 → 1式